

# 大地に花をー結成から今日まで

1962年4月結成された日本婦人会議は、2002年女性会議と名称を変え、今年50周年を迎えます。反戦・平和・女性解放の運動を、真正面からたたかい、工夫をこらして展開してきたその歴史を、テーマごとに数回にわたり紹介していきます。

1961年、婦人の力を結集し、婦人に真実を知らせるといふ大きな使命を担って「婦人しんぶん」が創刊されました。翌1962年4月14日、日米安保条約に反対して立ち上がった女性たちは、日常的に憲法の理念を活かし、平和と民主主義を築く活動をする、幅広い女性の組織をつくらうと、日本婦人会議を結成、結成集会に

は全国から5000人が参加しました。議長には安保闘争で文化人の先頭に立った田中寿美子、松岡洋子、岸輝子、深尾須磨子、羽仁節子、それに初代日教組婦人部長の高田なほ子、国鉄労働組合の野口政子、戦前からの活動家・田所八重子の8名が就任し、事務局長には山下正子が選ばれました。



反戦・平和・女性解放の運動を進めてきた女性たちは、1975年、国際婦人年世界会議で性別役割分業の撤廃を求める、女性解放の第2の波を迎えました。



1995年に「婦人しんぶん」を「女性のしんぶん」に変更しました。先輩の努力と運動の歴史に学び、時代の変化を敏感にうけとめ、しなやかに対応していける活動と組織でありたいと思っています。



与謝野晶子の愛弟子である深尾須磨子が婦人会議の歌「大地に花」を作詞しました。



## 大地に花

ー日本婦人会議の歌ー

深尾須磨子

大地に花あふれて  
でこぼこもならされた  
なごやかな祖国をみんなで作る  
燃えたつ願いに力と力  
婦人会議に結んで護る  
われらの憲法 われらの光  
高くかかげて進もうよ  
みどりの夢ふくらみ  
ゆきどくしあわせよ  
安らかな世の中みんなで築く  
誓いは一つよ 心と心  
婦人会議に結んで護る  
われらの憲法 われらの光  
高くかかげて進もうよ

